

教育大綱 基本方針―I

## 未来を拓く子どもたちの豊かな学びの実現

亀山市教育関係職員 研修基本方針

一人ひとりの児童・生徒が個性を生かしながら  
なかまとともに主体的に学ぶために

- (1) すべての子どもの学ぶ意欲を高め、社会で生きてはたらく「確かな学力」を育てる教育活動をすすめる。
- (2) 教師の授業力向上を追求するとともに、系統的な指導をすすめる。
- (3) 人権を尊重し、なかまとともに、豊かな心と身体をはぐくみ、自己肯定感・自己有用感を高める教育活動をすすめる。
- (4) 地域の人材や活動を活用し、地域とともに特色ある教育活動をすすめる。
- (5) 研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励を取り入れ、効果的かつ主体的に資質向上をすすめる。

## 1. 学校教育目標

じぶんで なかまと ふるさとから 学ぶ 夢豊かに しあわせに  
～地域の「ひと・もの・こと」にふれ、なかまと共に、自ら取り組む子の育成～

## 2. 研究主題

## 関小学校研究主題

やってみたい!

～問いを生み出し、考え続ける子どもを育てる授業づくり～

## 3. 研究主題設定の理由

## ①児童の実態

本校は、ほとんどの児童が就学前から同じ集団で過ごし、成長してきている。休み時間になると同学年だけでなく、異学年の子とも仲良く遊ぶ姿が見られる。しかし、同じ集団で過ごしてきたことにより、人間関係が固定化されており、自分に対しても友だちに対しても、これまでの見方や考え方から抜け出せない傾向が見られる。

2023年度から、「ととのえる」を合言葉に、「時間(チャイム等の時間の厳守)」「言葉(あいさつ・返事・言葉遣い)」「整頓(掃除・ロッカーや靴箱等身の回りのこと)」などを重点に置き、学校全体で、学習規律や学習環境整備に努め、よりよい学校生活に向けて取り組みを進めている。

児童の多くは、学習に対して前向きで、教師の発問に対して意欲的に反応したり、与えられた活動に意欲的に参加したりする姿が多く見られる。また、友だちと協力しながら活動することにも抵抗感が少なく、学習規律も比較的安定している。一方で、教師から提示された課題には取り組めるものの、自ら問いをもち、課題を見出したり学習方法を選択したりしながら主体的に学びを進めていく力には課題が見られる。特に「なぜ?」「もっと知りたい!」といった問いを自分の中から生み出し、得た知識をもとにさらに考えを深めたり広げたりする姿は十分とは言えない。これからの社会では変化する状況の中

で、自ら課題を見つけ、多様な考えに触れながら問題を解決していく力が求められる。そのためには教師主導で進む学習だけではなく、児童自身が問いをもち、課題を解決していく「探究的な学び」の経験を積み重ねていく必要があると考えた。

そのため、本年度の研究主題を「やってみたい! ~問いを生み出し、考え続ける子どもを育てる授業づくり~」と設定した。

## ②これまでの取り組みにおける成果と課題

昨年度は、研究領域を全教科・全領域・自立活動に設定し、「やってみたい ~子どもも先生も主体的にチャレンジする授業・学級・学校づくり~」を主題として研究を進めた。

研究領域を全教科・全領域とし、教師1人ひとりが領域を選択し、3つの授業づくり班(国語・算数・自立活動)、なかまづくり班に分かれてグループ別研修を行った。どのグループの研修も主体的に進めることができた。グループで日頃から活発に取り組みを交流し、自らの授業力を高めることができた。教師の「やってみたい!」は児童の意欲付けにつながり、児童が前向きに授業に向かうことができた。

課題は、小グループごとに「目指す子どもの姿」があり、関小学校として児童に身につけさせたい力が散漫となったこと、どんな力が児童に身についたのかの検証が難しかったこと、小グループ間同士の交流が不十分であったことがあげられる。

そこで本年度は教科を国語科と算数科に絞り、その教科の特性に応じた「探究的な学び」を追究していく。どちらの教科においても、児童が自ら「問い」を生み出し、学びのサイクルを回せるよう、授業研究を行っていく。また、小グループ間での情報交換の機会を増やし、学校全体で研究主題に迫っていけるようにする。

## 4. 研究主題について

教師も児童も「やってみたい!」という気持ちをもてるような授業づくりを行う。児童が自ら問いをもち、主体的・協働的に課題解決に取り組みながら考えを深めていく学びを展開する。また、教師の主体性を高めるために、自身が研修したい教科(国語・算数)を選択し、小グループで研究を進めていく。

学校教育目標

子どもにつけたい力

R8年度

- ① 気づく力(あれ?)
- ② 表現する力(私はこう思う)
- ③ 比べる力(どこが同じ?)
- ④ 疑問をもつ力(どうして?)

R9年度

- ① 問いを立てる力(どうして~なのか?)
- ② 見通す力(こうすればわかりそう!)
- ③ 深める力(本当にそうかな?)
- ④ 広げる力(前〇〇だったから、今回は…)

【児童の実態】

- ・学習規律を守り、意欲的に学習に取り組むことができる。
- ・教師の発問に対して意欲的に反応したり、与えられた活動に意欲的に参加したりできる。
- ・自ら問いをもち、課題を見出したり学習方法を選択したりしながら主体的に学びを進めていく力には課題が見られる。

## 5. 研究領域

【国語・算数】

いずれの教科においても児童が問いをもてるような課題設定や発問の工夫をおこなう。また、他者との対話を通して多様な考えに触れ、自らの考えを広げたり深めたりしながら、問いを追究していく学びを展開する。

## 6. 研究構想図

じぶんで なかまと ふるさとから 学ぶ 夢豊かに しあわせに  
～地域の「ひと・もの・こと」にふれ、なかまと共に、自ら取り組む子の育成～

### めざす子どもの姿

- ・自ら問いをもち、学びを広げ深める姿
- ・「やってみたい」「もっとこうしたい」と見通しを立てて、主体的に学習に取り組む姿
- ・友だちの気持ちや考えに耳を傾け、自分の思いも伝えながら、互いのよさを認め合って行動する姿
- ・「ひと」とのつながりを意識して、友だちや地域の方と積極的に関わろうとする姿

### 研究主題

やってみたい!

～問いを生み出し、考え続ける子どもを育てる授業づくり～

## 研究領域：国語科・算数科

### 学級づくり

#### なかまづくり

- 互いの意見や思いを認め合う活動や人権教育の推進
- 自己肯定感の涵養

### 授業づくり

#### 国語科・算数科

- 児童が自ら「問い」をもてるような課題設定や発問の工夫
- 学習活動に応じたタブレット端末の効果的な活用
- 単元のゴールの明確化とそれに向かう単元計画の作成
- めあて、ふりかえり活動の充実

### 教師力の向上

- 研修班を中心に、教師同士で日々の授業を積極的に参観し、授業や学級づくりに関する技やスキルを学ぶ
- 「みんくる」の充実
- 研修だよりによる、教師の学ぶ意識の向上

#### 【学習の基盤づくり】

- 「ととのえる」を合言葉にした、学習規律や学習環境の整備
- 家庭学習、自主学習の充実
- 「読書タイム」による読書週間の定着

#### 【児童の実態】

- 学習規律を守り、意欲的に学習に取り組むことができる。
- 教師の発問に対して意欲的に反応したり、与えられた活動に意欲的に参加したりできる。
- 自ら問いをもち、課題を見出したり学習方法を選択したりしながら主体的に学びを進めていく力には課題が見られる。

## 7. 具体的な取組

### (1) 授業づくり

- ・児童が問いを持てるような発問や教材の工夫
- ・活動カードや単元計画による見通しを持つ活動
- ・単元でつきたい力を明確にした単元構想や言語活動の設定
- ・つきたい力に迫るためのめあての設定、めあてに対するふりかえりの活動の充実
- ・目的を明確化させた上での児童同士の交流を取り入れた授業づくり
- ・自分の立場が分かったり、児童の言葉が残ったりするような板書の工夫
- ・発達段階に応じた話す力、きく力の質を向上させる（聞く→聴く→訊く）
- ・学校図書館と連携した絵本等を活用した取り組みを強化
- ・朝学を活用して、漢字や計算等の帯学習に取り組む
- ・学習用語の意味をおさえ、様々な場面で活用する
- ・他教科との学習のつながりを意識した授業・単元づくりをする

### (2) 学習の基盤づくり

#### 家庭学習、自主学習

- ・「家庭学習の手引き」を配付し、家庭学習への理解と協力を呼びかける
- ・家庭学習の内容として、「読み・書き・計算」と「自主学習」を取り入れる
- ・自主学習については、「自主学習掲示コーナー」を設け、手本となる自主学習を紹介する

#### 読書活動

- ・毎週水曜日の「読書タイム」や日々の読書活動を通して、本への興味関心を広げる
- ・様々な教科の単元に合わせて、教室または教室前廊下に「この本、読んでみようコーナー」を設置

#### 学習規律の定着

- ・学習に必要な持ち物、話し方・きき方など学習規律の統一と定着

### (3) なかまづくり

- ・「見つめる子」を中心とした学級づくり
- ・なかまづくりを活かした学級づくり・支援を必要とする子どもたちの共通理解
- ・「見つめる子」レポートに取り組み、児童の背景を捉え、共有する。

### (4) 教職員の力量を高めるために

#### グループ別研修

教師自身が「学びたい」や「やってみたい」という意欲をもって研修に取り組むために、自身が学びたいと思う教科(国語・算数)を選択し小グループで研修を進めていく。

長期休暇等を活かして、定期的に研修の成果や課題等をプレゼンテーション形式で発表し、教師同士が学び合う機会を設定する。

#### みんくる(みんなの研修はみんなで作る)の充実

教職員の「学びたい」「知りたい」を中心に据え、各自の実践等を語り合う時間を設定する。

年度当初に教職員一人ひとりに「学びたい」ことをきき、年間を通して研修会やみんくるで学んでいく。

#### 研修だよりの発行

定期的に研修だよりを発行し、情報を発信していく。